

## 幼稚園・保育所・こども園の情報化

—コロナ禍で情報（ICT）化が進む—

福岡県 植木保育園園長 池田 勇

### 1. はじめに

2020年春、全国に緊急事態宣言が発令された。幼稚園・保育所・こども園等（以下、幼稚園等）の休園や登園自粛が伝えられた。

文部科学省・厚生労働省等から幼稚園等へ、行事の中止や簡素化が求められた。

コロナ禍での幼稚園等の情報（ICT）化への動向を報告したい。

### 2. 新しい生活様式と幼稚園等の対応

幼稚園等の施設では保護者との連絡は大変重要である。保護者からは子どもの体調や家庭での食事・排泄・睡眠時間など、幼稚園教員や保育士等（以下、幼稚園教員等）からは子どもが日中過ごした様子や体調の変化などである。

連絡方法は、送迎時の保護者との会話、連絡帳・電話・便り等である。

現在、多くの幼稚園等では感染防止策として、保護者の園舎内への立ち入り制限をし、玄関口等で対応をしている。その時間も最小限である。

以前のように、保護者が施設内に入り、子どもの様子を見ることができない。行事も中止や簡素化、保護者への情報が減少していると判断できる。

### 3. 幼稚園等での園務（事務作業）のICT化

#### 3.1 保護者との連絡

幼稚園教員等から保護者への連絡手段として、連絡帳をお互いの情報端末機器で読み書きできるサービス（アプリ）が注目されている。

手書きからパソコンでの入力に変わり、幼稚園教員等の事務的な時間短縮が可能である。また、写真等も添付でき、日中の様子をよりわかりやすく伝えることができる。施設の公式ホームページ

と同様に日常的な情報公開が可能である。

他に、出欠受付、検温排便チェックなどの機能があり、配布物の既読機能は大変有効である。

以上のようなアプリは基本的な機能で月5,000円程度となる。幼稚園教員等はiPadやアンドロイドパソコンで操作し、保護者はスマホの無料アプリで利用する。

#### 3.2 幼稚園等の内部の事務的な作業

施設内の事務的な作業として、指導計画、クラス日誌、個人別日誌などがある。

今までは多くが手書きである。パソコンが整備されれば、Office系ソフト等を使うことで時間短縮が可能となる。過去の資料が参照できる環境ならば、一層効果は高い。入力装置としてキーボードの整備も望ましい。

### 4. 行事の情報公開や午睡確認の情報化

保護者が参観する行事が中止されたため、その代わりに日中の様子をYouTubeなどの動画共有サイトを利用し限定公開する施設が急増した。

その他、午睡センサーとして、マット・クリップ・カメラ型などの情報機器の整備が進んでいる。

### 5. 幼稚園教員等の研修のICT化

幼稚園や保育所等の団体は、全国・都道府県・市町村等の規模で組織化され活発な活動を行っている。その中で幼稚園教員等への研修が企画運営され、教育・保育の質が高められている。

しかし、コロナ禍で、講師と受講者が対面で行う研修は大部分が中止となった。その代わりとして、オンラインでの研修が順次開催されている。配信は、YouTubeやZoom等が使われている。

研修の情報（オンライン）化は幼稚園教員等の支持を受け、受講者数も機会も広がり続けている。

## 6. ICT化補助金と情報環境

### 6.1 補助金

国からICT化の補助金制度が出されている（表1）。都道府県や市町村、一部施設などの負担があるため、全く取り組まれていない地域もある。幼稚園等から研修や保護者連絡の情報化などの要望が出され、地方自治体も検討・予算化の段階へ入り、補助金の利用が高まると予想される。

表1 幼稚園等のICT化補助金

補助金名（管轄）	補助基準額
園務改善のためのICT化支援（文部科学省）	72万円
保育所等におけるICT化推進事業補助金（厚生労働省）	100万円

### 6.2 環境整備と予算計画

今後、移動や入力が簡単なタブレットパソコンと、無線LAN環境が整備されるであろう。

ネットワークは、規模が小さな場合は家庭用でも対応可能だが、パソコンの台数や広さにより工事や設定、クラウドなども必要となる。

幼稚園等では、アプリ等の月々の支払いの負担増が考えられる。さらに、約5年以降にパソコンの買換え時期となり、計画的な予算が必要となる。

## 7. 教育・保育でのICT利活用と情報活用能力

平成30年度からの幼稚園教育要領<sup>[1]</sup>のなかには、未就学児が通う幼稚園・保育所・こども園等の幼児教育を行う施設の共有すべき事項として、新たに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示された（幼稚園教育要領解説<sup>[2]</sup>参照（表2））。

保育室等でホームページの閲覧が可能となり、幼稚園教員等がパソコンを利活用した教育・保育の事例が出始め増えてくるであろう。幼稚園等では、子どもたちの創造的な作品が生み出されている。その中には、直接見ることができないものを参考にすることもある。例えば、各地でのお祭り、踊り、建築物などである。現在、本や印刷した写真を使っている。今後、インターネット上の多くの写真や動画で解りやすく説明することができる。

また、幼稚園教員等が写真や動画を撮影し、子どもに提示する機会も出てくるであろう。

さらに、子ども自身が写真や動画を撮影し、子ども同士で共有する機会が出てくると予想できる。これは、子どもの情報活用能力の育成として、初めて情報端末を使う機会になると期待できる。肖像権やルールなどを含めた情報モラル学習の基礎基本的な保育・教育の起点ともなる。

表2 幼稚園教育要領解説<sup>[2]</sup>より一部抜粋

また、5歳児の後半には、…一部省略…身近にあるものから必要な情報を取り入れる姿が見られるようになる。例えば、…一部省略…それぞれが体験したことや知っていることを伝え合ったり、その祭りに関係する事物の写真を見て、自分たちで作りたいものを決めたり、より本物らしく工夫する際に活用したりする。…一部省略…気付かなかったことを知ることで遊びがより楽しくなることや、情報を伝え合うことのよさを実感していく。

教師は幼児の関心に応じて、絵本や図鑑や写真、新聞やインターネットで検索した情報、地域の掲示板から得られた情報などを、遊びに取り入れやすいように見やすく保育室に設定するなどの工夫をし、子どもの情報との出会いをつくっていく。…一部省略…ときには教師がモデルとなり、情報を集める方法や集めた情報の活用の仕方、そのことを周囲に伝える方法などがあることに気付かせ、幼児が楽しみながら体験できるようにすることが大切である。

## 8. おわりに

幼稚園等の情報化、第一段階で園務（事務）、第二段階で幼稚園教員等の教育・保育でのICT利活用、第三段階で子どもの情報活用能力が高まる可能性を秘めている。

最後に、文部科学省は小学校入学前の5歳児を対象とした幼稚園等の共通プログラムをつくるため、中央審議協議会で検討をはじめると発表した。新たな分野として、「情報活用」も含まれている。

### 参考文献

- [1] 幼稚園教育要領 平成29年3月 文部科学省
- [2] 幼稚園教育要領解説 平成30年2月 文部科学省